

# 議会

# 会



私の街こまつ

Vol.203

2022.2

## Contents

12月定例会	2
市政Q&A 代表質問・一般質問	4
常任委員会 審査報告	16
特別委員会 調査報告	18
議決結果	19

# だより



12月議会補正予算

37億4、631万円を可決

作品名「にゃんず」

小松市立高等学校芸術コース美術専攻2年生  
中出 ここさん

新議長に  
吉本 慎太郎議員

を  
選  
出



第54代  
小松市議会議長

《議長あいさつ》

市民の皆さまには、日頃より市政な  
らびに市議会活動に温かいご支援とご  
協力を賜り、心から感謝申し上げます。

この度、令和3年12月定例会におき  
まして、第54代小松市議会議長に就任  
することになりました。身に余る光榮  
であります。

市民の負託に応えるべく、今、議会  
で何が審議されているのかを分かりや  
すくし、より「身近な議会」にしてい  
くとともに、議会の主張をはっきりと  
示していく「強い議会」を目指してま  
いります。

今は新しいまちづくりの機運を高め  
る大事な時期。市民の皆さまをリード  
し、小松市の更なる発展に努めていく  
所存です。

何とぞ、ご理解とご協力を賜ります  
よう、お願い申し上げます、就任の  
挨拶いたします。

【委員の選任】

吉本議長の就任に伴い、下記のとおり各委員が選任されました。

議会運営委員会副委員長  
小松基地・空港対策特別委員

高野 哲郎議員  
高野 哲郎議員

議会だより編集委員  
石川県後期高齢者医療広域連合議会議員

新田 寛之議員  
吉本 慎太郎議員

<p>11月29日 開会</p> <p>市長提出議案 7件</p> <p>予算案 7件</p> <p>条例案 10件</p> <p>その他議案 5件</p>	<p>会期（11月29日～12月23日）</p> <p>12月7日 代表質問（2人）</p> <p>8日 一般質問（8人）</p> <p>9日 一般質問（6人）</p> <p>市長提出追加議案 1件</p> <p>10日 各常任委員会（分科会）</p> <p>13日 特別委員会</p> <p>16日 予算決算常任委員会 総括質疑</p> <p>各常任委員会（分科会）</p> <p>21日 予算決算常任委員会</p> <p>23日 閉会</p> <p>市長提出追加議案 3件</p> <p>議員提出議案 4件</p> <p>※議案等の採決（P19参照）</p>
--	---



条例案等をチェック

市長から提案のあった条例案やその他の議案に  
ついては、各常任委員会で審議されました。  
(P14～18参照)

議員提出議案をチェック

議員から提出された議案（意見書）については、  
可決された意見書を内閣総理大臣をはじめ、関係  
機関に送付しました。（賛否はP19参照）

人事案件

人権擁護委員

- こうど さちこ 氏（今江町）  
鴻渡 幸子
- おの でら たみこ 氏（串町）  
尾野寺 多美子
- でぐち しゅんいち 氏（矢田町）  
出口 春一

の推薦に同意しました。

- 議案第10号 子供たちの学びの更なる充実を求  
める意見書
- 議案第11号 中国政府による人権侵害問題の解  
決に向け、日本政府に必要な措置を  
講ずることを求める意見書
- 議案第12号 旧姓の通称使用の更なる拡充を  
図り、改姓による不便や不利益の早急  
な解消を求める意見書
- 議案第13号 更なる国土強靱化に向けて予算の  
拡充を求める意見書

本会議の討論

木下議員より議員提出議案第12号、橋本議員よ  
り議員提出議案第13号に対し、反対討論がありま  
した。

# 予算案をチェック

## 新型コロナウイルスワクチン接種費



【補正額】 8,550万円  
 【内容】 追加接種（3回目）を実施するために必要な経費です。対象者は2回目接種から原則8ヶ月以上経過した18歳以上の方です。対象者には接種通知を順次、送付します。

## 赤ちゃん紙おむつ定期便費



【補正額】 1,500万円（債務負担行為額）  
 【内容】 生後3ヶ月～1歳までの子どもを養育する家庭の子育ての精神的・経済的負担の軽減を図るため、見守り訪問の実施などを行い、併せて紙おむつを自宅まで配達します。訪問開始は令和4年7月を予定。

市長から提案のあった予算案については、予算決算常任委員会で審査されました。（P14～16参照）  
 主な提案内容を紹介します。

## 令和3年度12月補正予算

一般会計	補正額	36億3,775万円
特別会計	補正額	5,876万円
企業会計	補正額	4,980万円

## 一般会計の累計

535億6,996万円

## 全会計の累計

1,080億5,862万円

## 小松駅高架下観光交流施設整備費



【補正額】 250万円  
 【内容】 北陸新幹線小松開業による新たな交流の創造に向け、高架下情報ラウンジ内部の展示設計を行い、地域の魅力を発信します。

## サテライトオフィス立地推進費



【補正額】 150万円  
 【内容】 企業誘致の実現のため、オフィス情報チラシやWebによる情報発信強化と企業の地元進出動向調査を実施します。

## ICT教育環境推進費



【補正額】 2,800万円  
 【内容】 新型コロナウイルス感染症、自然災害の発生等による学校の臨時休校等の緊急時における学びの保障のため、タブレット端末での家庭学習やオンライン学習用機器の充実費用です。

## 子育て世帯臨時特別給付費



【補正額】 17億5,700万円  
 【内容】 新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、子供たちを力強く支援するため、0歳から高校3年生までの対象児童一人当たり10万円を一括支給するものです。※所得制限があります。

## 共生のまち推進費



【補正額】 270万円  
 【内容】 不安を抱える女性が気軽に相談できるよう無料の相談窓口の開設や居場所の提供をするため、NPOに委託する費用です。

## 森林情報管理システム整備費



【補正額】 400万円  
 【内容】 スマート林業の実現に向け、森林資源情報や地図情報等をデジタル化し一元的に管理する費用です。

代表質問 会派自民 灰田 昌典(はいだまさのり) 議員

一括質問

## 宮橋市長にとって初めての 本格的予算編成、その基本的な考えは

**Q** 「コロナ禍により前年度比10億3千万円程度不足額が生じる」とあるが、どの分野から捻出されるのか。

**A** 歳入では改めて交付税算出を行う等で6億円を確保。歳出ではデジタル技術の活用等を進めると共に主要事業について精査修正を図り見直しを行う予定。

**Q** 特別推進枠の設定について具体的な内容は。

**A** ①力強く成長する産業都市を目指す。②子育て世帯に対する様々な経済的負担を軽減、子育て政策を充実。③多様な人々にとって安全・安心の生活環境づくりを進める。④フオリティ・オブ・ライフを高める施策を展開する。

**Q** 事務事業の見直しで2億円程度の財源不足を捻出して当初予算に反映とあるが、その内容、内訳は。

**A** 全883事業を総点検し、148事業206件の見直しを検討した。今後、当初予算編成の中で更なる見直しを行うしていく。

**◆北陸新幹線小松開業に伴う整備計画について**

**Q** 2024年開業に向けて開業機運を高めよ。

**A** 観光交流センターの特性を生かし、駅や駅周辺施設のにぎわいを創出する取組を行う。

**Q** 観光交流センター内の料金設定は。

**A** ビジネスプランの構築はこれからで、利用料金も現段階では未定である。

**Q** 新幹線小松駅と空港を活かした街づくりについて。

**A** 金沢大学、ジェイ・バス(株)等との産学官連携により、駅と空港間を直結する快適でスムーズなアクセスの実現を目指す。

**Q** 北陸電力の複合ビルの積極的な支援を図るべき。

**A** 複合ビルの整備に当たり、国土交通省の都市構造再編集中支援事業費補助等の活用検討を行っている。

**◆安宅新地区土地区画整理事業について**

**Q** アクセスを活かした産業団地について北陸随一の産業団地とは。

**A** 区域面積32・1ha。全体事業費約45億円。令和3年8月に区画整理区域を縦断する都市計画道路4車線化、10月より造成工事に着手。

**Q** 企業誘致だけでなくスポーツ等のイベント施設、アウトレットモールなどの誘致の考えは。

**A** 現時点で具体的な計画はないが、積極的に声をかけていきたい。

**◆向本折、打越地区の区画整理事業について概要と見通し、両地区のまちづくりの期待するものは。**

**A** 向本折地区は施工面積3・8ha、約120区画、打越地区は16・3ha、約310区画。



**◆雨水対策について**

**Q** 雨水対策について

**A** 画を計画。企業誘致に伴う従業員の住宅用地等の受皿になると期待。令和4年春に事業着手。

**◆松陽中、稚松小学校の整備計画**

**Q** 松陽中、稚松小学校共に築50年以上経過し老朽化が進み、不具合が生じている。地元の方や学校関係者の切実なる要望に応えよ。

**A** 松陽中、稚松小学校共に築50年以上経過し老朽化が進み、不具合が生じている。地元の方や学校関係者の切実なる要望に応えよ。

**◆旧西尾小学校跡地活用事業**

**Q** 検証委員会の結果について。

**A** 当初から現指定管理者でなければ参入できないような形で手続が進められた疑いがある等、不適切であったとの評価を受けた。

**◆オープンに向けての取組は。**

**A** オープンに向けての取組は。

**A** 検証委員会の評価等を踏まえ、早期に方針について判断していく。

代表質問 自民党こまつ 川崎 順次(かわさきじゅんじ) 議員

一括質問

## リーダーとは進むべき方向と進んだ先の希望を見せて導く人のことである

### ◆来年度予算編成について

**Q** 学校給食無償化は来年度、どこまでの範囲で実施するのか。

**A** 無償化の実施、拡充にあたり事業の見直しを進めている。今後、全体最適の観点から総合的に判断したい。

**Q** 未来型図書館は宮橋市長の公約の目玉、来年度当初予算にはどの程度見込み、対応をしていくのか。

**A** 今年度の調査結果を踏まえ、図書館の基本方針等を示す基本構想の策定を予定している。策定に合わせて、市民と共に作る未来型図書館の機運を高めていきたい。

**Q** 子供たちが夢を持てる小松、住んでよかったと思える小松に向けては。

**A** 就任以来まちの好循環を目指して取り組んできた。行政のみならず、民間による投資も呼び込める魅力あるまちづくりに取り組んでいきたい。

**Q** コロナ対策費については、アフターコロナも大事ではないか、対策は。ワクチンを今の年齢から引き下げていくのか。

**A** 接種年齢の引き下げについては慎重に対応する必要がある。国の情報を的確に把握するとともに、出来るだけ早く支援が届くよう進めていきたい。

### ◆旧西尾小学校跡地活用事業について

**Q** 検証委員会の検証結果は。

**A** 公共施設としての位置付け、整備活用方針の策定と事業者選定過程においては不適正、事業の継続可能性については、しばらく採算をとる事は困難との結果であった。

**Q** 検証によって前市長・前副市長の事業の進め方にさらに疑惑が深まった。結果を受け市長の率直な感想は。

**A** 非常に重く受け止めており、今後は事務の適正化など改善すべき点は速やかに言い、説明できる部分はしっかりと説明していきたい。

**Q** 当初は教育施設、それがなぜ宿泊付レストランになってしまったのか。検証結果が全てではないか。

**A** 改めて公の施設としてふさわしい管理運営が行われることをしっかりと確認するとともに、中長期的な施設運営の点から損益計画等についても確認していきたい。

### ◆コンベンション、文化、スポーツ大会の誘致について

**Q** 大型大会誘致には大きな施設が必要不可欠。駅周辺に未来の小松のために核となる多機能アリーナの構想を持ってはどうか。

**A** 地域活性化の起爆剤であるアリーナの整備構想を近い将来実現させたい。

**Q** ボッチャなど体に障害がある人たちもスポーツに親しんで楽しめる施設はどうか。



**A** スポーツ競技者や関係団体等と知恵を出し合い、スポーツ施設のみならず多機能複合型の施設整備を検討していきたい。

### ◆うごめこごと

**Q** 重大な事態を招く前の対策は。

**A** 未然防止・早期発見・丁寧な対応の視点で取組みを行っており、今後も児童生徒が自己有用感や安心感を持ち、伸び伸びと学ぶことが出来る学校づくりに取り組んでいく。

### ◆動物愛護対策

**Q** 石川県動物愛護の条例内容は。

**A** 動物愛護精神の高揚を図り、人と動物の共生社会の実現を目指すこととしており、来年4月に施行となる。

**Q** 飼い主のマナー義務に対して地域活動の大切な要はT(保護)N(避妊・去勢手術)R(戻す)。犬や猫等の飼い主に周知すべきこと、市民に理解してほしいことなどをHP等で紹介し、周知を図りたい。

**Q** 小松市独自の条例制定を。

**A** まずは県の条例を広く周知し、動物との共生社会の実現に向けて市の責務を果たすよう努めていきたい。

16人が  
質問しました。

# 12月定例会

12月定例会

■ 一括質問  
■ 一問一答

1	代表質問 会派自民 灰田 昌典 議員	●宮橋市長にとって初めての本格的予算編成、その基本的な考えは	4ページ	2	代表質問 自民党こまつ 川崎 順次 議員	●リーダーとは進むべき方向と進んだ先の希望を見せて導く人のことである	5ページ
3	竹田 良平 議員	●不登校の児童生徒へのサポートについて ●医療的ケア児やそのご家族への支援 ●スマートロックの導入	7ページ	4	岡山 晃宏 議員	●日本遺産サミット・GEMBAモノヅクリエキスポを終えて ●WITHコロナでの安心安全な活動に向けて ●近年の物価高騰の対策について	7ページ
5	東 浩一 議員	●松東地区 地域活性化・農林業の継続と持続的取組	8ページ	6	吉田 寛治 議員	●小松市のまちづくりの核となる未来型図書館の建設について ●給食費の無償化について ●旧西尾小学校の活用事業について ●環境整備について ●金野小学校の跡地利用について	8ページ
7	梅田 利和 議員	●身近な行政手続きの窓口について ●「Nudge(ナッジ)」を活用したシティプロモーションについて	9ページ	8	二木 攻 議員	●木場湯前川における遊覧船の運航について	9ページ
9	宮川 吉男 議員	●北部地区の活性化について ●芦城公園整備について	10ページ	10	橋本 米子 議員	●来年度の予算編成に関し、原油価格の高騰への対策について ●小松市国民健康保険税について ●小松市保育所統廃合、民営化の総括について ●小松基地でのF-35A訓練について	10ページ
11	木下 裕介 議員	●行政サービスの一元化を ●新型コロナワクチン3回目接種 ●HPVワクチン接種について ●市職員の働き方について ●防災について	11ページ	12	新田 寛之 議員	●小松市奨学金貸与条例について ●3回目のワクチン接種に向けて	11ページ
13	吉村 範明 議員	●伝統工芸九谷焼の更なる発展に向けて ●本市の食料自給率を上げる施策について	12ページ	14	片山 瞬次郎 議員	●図書館の利用状況について ●貸与型奨学金制度について ●日本遺産サミットin小松から	12ページ
15	円地 仁志 議員	●安宅海岸浸食対策について	13ページ	16	宮西 健吉 議員	●子育て教育におけるこども園、保育所の現況と課題について ●本市公設のふれあい健康広場・西俣キャンプ場について	13ページ



竹田 良平(ただけりょうへい)議員

一括質問

## 不登校の児童生徒へのサポートについて等

**Q** 昨年度、全国で不登校の児童生徒数が全児童生徒数に占める割合は、小学校で約1%・中学校で約4%と過去最多になった。本市の現状については。

**A** ここ数年、全国的に不登校児童生徒数は、小、中学校ともに増加傾向にあり、本市も同様である。

**Q** 板津、松陽、国府中の3校でステップルームを設け学校生活になじめない生徒をサポートしている。3校下以外の生徒への対応および本市のサポート体制は。

**A** 不登校児童生徒を勇気づけ、方向性を持たせられるのは、その子の状況や心の中を理解している自校の先生だと思う。一人一人に寄り添い自立を図りたい。また、スクールカウンセラー等の専門的観点から適切で幅広い対応ができるサポート体制を重視したい。

### ◆医療的ケア児やそのご家族への支援

**Q** 新型コロナウイルス感染症対応など看護師は人手不足にある中で、本人の進学予定校などニーズに合わ

せた看護師の確保の見通しは。また、今後県との連携については。

**A** 令和4年度の新学期から医療的ケア児の受入れに向けて事前に看護師を雇用するため、要する経費を計上した。県立の特別支援学校に勤務する看護師などを対象とした研修会に参加するなど、連携を図りたい。

### ◆スマートロックの導入

**Q** スマートロックとは、鍵穴に暗証番号が打ち込める機器をとりつけ発行された暗証番号を打つと解錠される仕組み。予約から鍵番号の発行までLINE上で完結できるサービスもある。鍵当番の負担軽減として、体育館等への導入は。

**A** 学校体育施設等は、地域主体で管理や利用調整が行われている。管理者と利用者のコミュニケーションの低下による備品等の片づけや清掃、ルールの遵守の点で配慮が必要になる。今後、利用が適する施設を選定し、実証実験、費用や運用面等、導入効果を検証し、他施設での利用を検討したい。



岡山 晃宏(おかやまあきひろ)議員

一括質問

## 日本遺産サミット・GEMBAモノヅクリエキスポを終えて

**Q** 日本遺産など観光資源がある地域の方は地域の活性化に大変尽力をしている。大きな整備には限界があり、地域と市が今まで以上に連携し、観光客に来てもらえるような整備が必要と考えるが。

**A** 安宅地区では常夜灯等、鶴遊立地区では銅山跡の公園整備等を地元と共に行ってきた。地域をリードする人材育成に取り組み、地域と共に日本遺産の魅力づくりや活性化に取り組んでいきたい。

**Q** GEMBAプロジェクトに参加した工場・工房で学生向けの見学などに助成をして、修学旅行の誘致を行うてはどうか。

**A** 市内宿泊施設利用で1人1泊500円、買い物補助券1,000円分または市内観光パスポートを発行している。課題を洗い出し、産業観光を市の代表的観光コンテンツとして発展させたい。産業観光と教育活動は深い関わりを持つており近代日本を支えてきた産業遺産等を通じて学習することは非常に効果が期待される。

### ◆WITHコロナでの安心安全な活動に向けて

**Q** 国が配信したワクチン接種を証明する電子証明書アプリの本市の導入と活用に向けた取り組み、スマホを持っていない方への対応は。

**A** 電子化後も引き続き窓口申請で紙の接種証明書も利用可能。接種の有無にかかわらず、安心・安全に食事やイベントを楽しむため、検査キットに助成してはどうか。また、市主催のイベントでの検査キットの活用は。

**A** 検査キットは各地で国の実証実験が行われているところである。市主催のイベント等では感染状況に応じワクチン・検査パッケージ制度など必要な対策を講じたい。

### ◆近年の物価高騰の対策について

**Q** ガソリンや灯油の高騰は家計に大きな負担となっている。生活困窮者へこれらの購入費用に助成を行い、経済的負担を軽減する必要があると思うが。

**A** 住民税非課税世帯あるいは均等割のみの世帯のうち、75歳以上の高齢者、重度障がい者、独り親世帯、生活保護世帯の方を対象に1世帯当たり5,000円の現金給付を予定。



東 浩一(ひがしこういち)議員

一括質問

## 松東地区 地域活性化・農林業の 継続と持続的取組

**Q** 尾小屋鉱山メインロードの復旧について。

**A** 令和3年5月に、坑道内の木材が腐食落下し、閉鎖していたが、11月1日より坑道の一部を公開中。現在、全面公開に向け施設維持や運営方針を検討している。

**Q** 松東地区旧3小学校跡地活用について。

**A** 旧西尾小学校は、検証委員会の検証を踏まえ、市民にとって最善な判断をしたい。

旧波佐谷小学校は、令和3年10月、地元町内会から地域の活性化の施設利用の要望書が提出。校舎を活用できるよう維持管理をしている。

旧金野小学校は、令和3年1月と5月に要望書が提出された。同年7月には識者と跡地活用の検討を行い、次世代産業や産学共同研究開発拠点サテライトオフィス等地域交流拠点等が提案されている。提案内容に沿った企業等からのアプローチもあり、令和3年8月にも、同様の要望書が提出されている。旧金野小学校の跡地活用については、令和3年度に指定管理者の公募開始の予定であったが、現時点で指定管理者の応募が見

込めない状況にあると捉えている。

**Q** 農業の現状と農業政策について。

**A** 11月に販売農家を対象とした農業振興に関するアンケートを実施した。大規模農家だけでなく小規模や中山間地域の農家にも今回のアンケート結果に基づき市独自の支援制度を検討する。

関係機関と連携し、次世代を担う農業者育成、体質強化等取組を推進し、持続可能な農業を実現する。

**Q** 林業支援と環境護と税の活用について。

**A** 令和4年度から、市内小学生を対象とした森林環境教育等を県やかが森林組合等と、実施していく。未来へ森林を守り育てるため、森林整備、境界確定や同意取得の促進、広葉樹を製品化すること等、森林環境護と税の活用を進める。

**Q** EV充電施設の設置について。

**A** 令和4年度以降、優先度の高い施設のEV車充電設備の配置を検討する。官民一体での充電設備の整備計画の策定など、普及拡大に向けた取組を進めていく。



吉田 寛治(よしだかんじ)議員

一括質問

## 今後のこまじの 新しいまちづくりについて

**Q** 小松市のまちづくりの核となる未来型図書館の建設について

**A** 市長は4、5年でオープンするとういう考えを伺ったが具体的な計画をお示しいただきたい。

**A** 令和4年度には、本年度の調査研究を踏まえ、未来型図書館の基本方針や役割、機能やサービス、立地場所等の方向性やイメージなどを示す基本構想の策定を予定している。

**Q** 給食費の無償化について

**A** 「子育てするなら小松」をさらに段階的に広げてほしい。

**A** 投資をすることで好循環が生み出せる、非常に重要な政策であるが、新年度の予算編成で、どの程度実施できるかは、事務事業の見直しにおいて、財源確保状況や重要政策の中で検討していく。

**Q** 旧西尾小学校の活用事業について

**A** 不透明な部分があるとの報道があったが明らかにすべき。前市長副市長が聞き取りに応じな

ったと聞くが、市長のお考えをお聞きしたい。

**A** 検証委員会は、市の内部調査よりも専門的知見で検証しており、現時点で市としてこれ以上の検証をすることは考えられないというふうになっている。

**Q** 環境整備について

**A** 美しいまちづくりのため、ポイ捨て禁止の看板設置など対策を講じる必要があるのではないかと、多くの市民や事業所が協働で行っているボランティア活動を広げ、不法投棄やポイ捨てができないような美しい環境をつくり上げていきたいと考えている。

**Q** 金野小学校の跡地利用について

**A** どのような計画が考えられているのか。住民に跡地利用について思いを聞く会を持つ予定はあるのか。

**A** 地元が望む施設活用が見込めない場合には、地元と協議し、意見を踏まえながら施設の在り方について検討を進めていきたい。



梅田 利和(うめだとしかず)議員

一括質問

## 身近な行政手続きの窓口 郵便局

◆身近な行政手続きの窓口について

Q 小松市内の10郵便局での行政手続きの現状は。

A 平成30年9月に、市民対応の窓口業務に関する内容を含めた包括連携協定を市と市内郵便局の間で締結した。令和2年11月から市内10郵便局において行政窓口業務を委託している。委託している業務内容は2種類で、申請書取次業務と電子申請サービス支援業務である。

Q 身近な郵便局の今後の活用は。

A これまでも取次ぎできる業務や手続の拡大について郵便局と協議を進めてきたが、現在税関関係の2手続について追加に向けて準備中である。更に、郵便局でもマイナンバーカードの申請受付をできるような協議を進めている。

◆「Nudge(ナッジ)」を活用したシティブロモーションについて

Q ナッジとは。

A 次世代型クレジットカード Nudgeは、ポイントの一部をユーザーがあらかじめ選択したスポーツチームやアーティスト、地

域等に対する寄付として還元できる仕組みを備えている。

Q 協定の内容は。

A 「FinTechを通じた地方創生の推進に関する協定」として、関係人口の創出や市民生活の充実に向けた施策を推進することを目的に2つの柱を設けている。1つには関連人口の創出とエンゲージメント向上に関することであり、Nudgeを活用したシティブロモーションを進めていきたい。2つには若年層の金融リテラシー向上に関することであり、ナッジ(株)の経験や見識を、ふるさとの高校生、大学生、社会人向けに、フィンテックや金融に関する研修会や情報発信等を図っていきたい。

Q 今後の期待する効果は。

A デジタル技術は、ビジネスや暮らしの様式や常識を大きく変える。前述した取組の有効性に加え、ナッジ(株)とのパートナーシップを築き、フィンテックの知見や技術を様々な分野から活用して市の活性化につなげたい。

※フィンテックとは、金融ファイナンスと技術(テクノロジー)を合わせた造語



二木 攻(ふたぎ おさむ)議員

一括質問

## 木場潟前川における遊覧船の運航について

Q 木場潟、前川(まえがわ)は、今江町で生まれ育った私にとって思い出の多い故郷です。木場潟と白山が一体となった眺望は、誰もが認める素晴らしいものだと思います。木場潟には、年間74万人もの人々が訪れます。美しい木場潟と前川を利用した環境を魅力アップし、地域の観光として活用し、活性化につなげるべきだと思えます。そのためには、遊覧船を運航し、眺望・舟遊を楽しむ企画が必要と思えます。

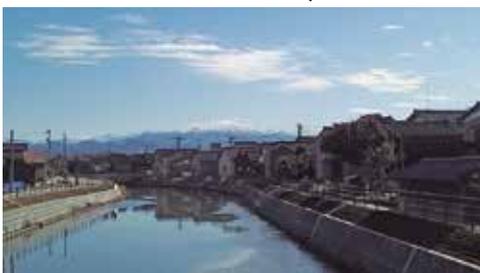
Q また前川の改修終了時にはぜひ運航を開始してもらいたい。

A 前川で遊覧船を運航するに当たっては、事業者の確保や河川管理者との協議、橋桁とのクリアランスの確認等が必要であり、また上流に向かって運航する際には船外機を使用しなければならぬ等の課題がある。

船外機を取り付けた場合であったとしても、安全統括管理者や運行管理者の資格を持つ人材の確保が必要となる。船頭にあつては、二級小型船舶操縦士船舶免許に加えて、乗客を乗せる小型船舶の船長としての特定操縦免許が必要となる。

市としては木場潟や前川での流し舟の運航は、自然環境を楽しむことができる観光資源として興味深いと考えている。

今後、実施に向けて新たな課題が生まれることも想定しながら、地元等と調整を行い、全国の事例などを参考に、課題解決を図り運航実施を目指していきたい。



白山・木場潟・前川の眺望



宮川 吉男(みやかわ よしお)議員

一括質問

## 既存の図書館を見直し活性化し グレートアップを

### ◆北部地区の活性化について

**Q** 地域の活性化、まちづくりに重要な国道305号白江交差点～長田町交差点迄の4車線化進捗は。

**A** 県事業として平成28年度から4車線化改良事業に着手し、現在地権者と用地補償の協議に取り組んでいる。

**Q** 梯川・鍋谷川・八丁川の改修事業の進捗は。

**A** 鍋谷川改修事業は千代町側が今年度末に120m完成し、残り150mとなる。八丁川改修事業は今年度末迄に長田町側約470m完成の見込み。

**Q** 野田町町内会より強い要望の公共下水道事業整備計画は。

**A** 高堂町完了後、令和7年度以降から整備を予定。

**Q** 米価格が2年続きで下落している。生産者の士気向上のため本市として国、JAへの支援要請は。

**A** 小松市産ブランド米の価値向上と消費拡大に向けた各種施策を行い、農業者の所得向上に努める。

**Q** 能美地区の発展、振興についてかねてから要望のコミュニティセンターと防災センターを併せた複合施設の計画は。

**A** この地域の皆様のより安全な避難の確保と能美小学校避難場所の安全性を高め防災機能の充実に必要性を進めていく。

### ◆昔城公園整備について

**Q** 更なる魅力ある公園整備として春夏秋冬季節感を感じ取る花の植樹と素晴らしい観光資源のPR及び発信を。

**A** 樹木の樹勢回復や保存を図り、花と緑が美しい風情のある魅力的な公園に改良していく予定。

**Q** 園児、高齢者、身障者に優しい通路整備を。

**A** 一部車椅子でも散策できるエリア、視点を設けている。事前申込みが必要であるが美術館・公会堂前は車が侵入できるよう配慮している。HP・SNS等で周知強化していく。

**Q** 現市立図書館は3カ所あり、特に公園内の図書館を市民よりアイデアを募り活性化及びグレートアップする考えは。

**A** 図書館協議会、市民アンケートを実施し利用促進をはじめ公園、文化施設と連携し提案を頂き魅力アップに努める。



橋本 米子(はしもと よねこ)議員

一括質問

## 原油価格の高騰への 対策について

### ◆来年度の予算編成に関し、原油価格の高騰への対策について

**Q** 生活困窮世帯や中小事業者への福祉灯油の助成を求めめる。

**A** 生活困窮世帯へは、市独自に追加予算の上程を予定、中小事業者へは国・県等の動向を踏まえ市独自の制度も検討したい。

### ◆小松市国民健康保険税について

**Q** 18歳未満の国保税均等割半額減免を来年度も継続実施を。

**A** 国等の状況を総合的に見極める必要がある。国保運営協議会の中で制度の継続についても協議していきたい。

**Q** 国保税滞納世帯へ「限度額適用認定証」の交付を求める。

**A** 厚労省の通知に基づき運用しており、今後は県内の状況も踏まえながら交付に向けて、関係機関と協議を進めていきたい。

### ◆小松市保育所統廃合、民営化の総括について

**Q** 保育所の統廃合、民営化の結果と公立こども園の特徴は。

**A** 平成17年度19施設から令和2年度5施設に減少、特徴として「社会全体で子どもを育てる」を

基本理念に教育・保育と子育て支援に臨むこととしている。

**Q** 30歳以下の保育士が少ないので計画的採用が必要と思う。

**A** 多様なニーズに対応できる支援やサービスのため、バランスの良い採用を計画していきたい。

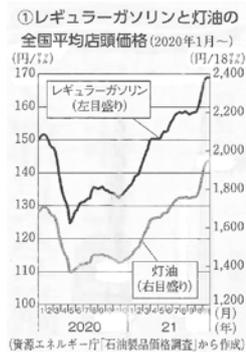
**Q** 認定こども園「だいち」と「あおぞら」の老朽化建替計画は。

**A** 両施設とも老朽化しており、今後、新園舎の建設に向けて地域や保護者など関係者の方と協議を進めていきたい。

### ◆小松基地でのF-35A訓練について

**Q** 訓練の理由と市として騒音調査をどう対応されたのか。

**A** 移動訓練という通常訓練の一環のもので、調査については市内11か所で常時行っている騒音測定を実施している。



レギュラーガソリンと灯油 全国平均店頭価格の推移



木下 裕介(きのしたひろゆき)議員

一問一答

## 子ども支援の窓口一元化を！

### ◆行政サービスの一元化を

**Q** 0歳から18歳まで一貫して受け持つ部局を設け、乳幼児健診や子育て支援など切れ目なく見守りできる体制を整えてはどうか。

**A** 見守り・支援が必要な家庭については、市長部局と教育委員会が綿密に連携し、こども園と小学校との接続については、8月に幼保・小連絡研修会を開催し、接続に向けた取組の強化を図った。

### ◆新型コロナウイルス3回目接種

**Q** 管理が異なり、使用期限もあるファイザー・モデルナの2種類のワクチンをどう使っていくのか。

**A** 希望者には3回目接種時期に接種可能となるワクチンを検討して頂きたいと説明したい。

### ◆HPVワクチン接種について

**Q** 厚生労働省は11月、HPVワクチンの積極的勧奨を来年4月から再開することを決定した。本市の対応は。

**A** 国は接種券の発送前倒しも可能としており、実施に向け検

討していきたい。

**Q** 一方で現在もワクチン接種後の健康被害を訴えている方もいる。対象者の不安払拭に向けてどのように周知していくのか。

**A** HPVの活用や接種券にチラシを同封し、必要な情報が必要な人に確実に伝わるようにしたい。

### ◆市職員の働き方について

**Q** 残業時間の推移と休職者の状況は。また、休職者が職場復帰する前後にどのような支援を行っているのか。

**A** 上半期では令和元年度14・6時間、2年度11・9時間、3年度13・5時間。休職者は元年度が12人、2年度7人、3年度が9月末で7人。復帰前は試し出勤を行い、復帰後は保健師が丁寧な声掛けを行っている。

### ◆防災について

**Q** 防災安全センターに女性の正規職員を配置してはどうか。

**A** 防災担当部局の長は女性であり、政策立案もしている。



新田 寛之(にいたひろゆき)議員

一問一答

## 小松市奨学金貸与条例について

### ◆県外の大学でも良いか。

**A** 当該者もしくは当該者の保護者が本市に在住ということが条件となるため、保護者が小松市に住んでいれば対象となる。

### ◆所得制限はどうか、緩和も必要ではないか。

**A** 世帯全員の前年所得金額の合計額が生活保護基準の1.3倍までとしており、目安として4人家族で470万円程度となる。

### ◆修業中でも良いか、年齢制限はあるか。

**A** 進学予定の方、既に在学中の方でも条件を満たせば申請することは出来る。年齢制限は特にない。

### ◆貸与金額の途中変更は可能か。

**A** 年度途中では難しいが、各年度の新規申請時期に合わせた変更は可能。

### ◆留学や留年等による延長や、大学院進学等での貸与も考えてはどうか。

**A** 支給期間は卒業までに必要な修業期間が終わるまでとしており、留学、留年の場合はその期間

は休止扱いとなるが、帰国や進級により、再度貸与を受けることが出来る。大学院への進学は現行制度では対象としていない。

### ◆10年の返済期間は、もう少し長く設定すべき。

**A** 最高で総額240万円を10年で返済する場合、月々2万円となるが、やむを得ない事情等で返済困難となればその期間の返済を猶予することも出来る。

### ◆返済時期には結婚や出産、住居新築等のイベントが考えられる。1/2返済免除の条件緩和やメニューを幅広く設定してはどうか。

**A** 今後は社会ニーズや応募状況、学生等の声を聴きながら、利用しやすい制度となるよう、弾力的に運用していきたい。

### ◆3回目のワクチン接種に向けて

#### 接種方法や集団接種会場は前回同様か。

**A** 前回と違うワクチンを接種する交互接種も認められるなど、これまでと異なる部分もあるため、集団接種の会場数や接種体制を含めて検討・協議を進めている。



吉村 範明(よしむらのりあき)議員

一問一答

## 伝統工芸九谷焼の 更なる発展に向けて

**Q** こまつクタンニ未来のカチ実行委員会がビジョンを作成した。九谷焼の日常使いについて、本市は九谷焼とどう向き合い今後、どう事業を進めるのか。

**A** 市全体の総合ビジョンでも九谷の素材を取り入れた内容を考え、新年度において具体的な施策を予算要求したい。

**Q** 九谷文化や技術を次の世代へ継承することは重要だ。支援策は。

**A** こまつの技継承支援奨励金制度により支援しており、これからも応援していく。

**Q** 伝統工芸と触れ合う教育機会の拡大について学校の授業は。

**A** 小学校4年生社会科で、伝統工芸を学ぶ単元がある。

**Q** 後継者育成のため、市立高校で専門に学ぶ授業やコース増設などを検討とあるが制度設計の内容と時期は。

**A** コース設定も含め教育活動自体を見直し生徒にとって価値のある高校を目指していく。

**Q** 金野小学校など教室を工房として整備し、期間を区切り貸し出すのは。

**A** セラボクタンニで貸工房を設置し、2人の若手作家の方が活動している。作家の方々が育つ環境を支援していきたい。

### ◆本市の食料自給率を上げる施策について

**Q** 稲作耕作者と生産コスト、米価の推移は。

**A** 市内で700人、平均年齢は68・1才。コストは一反当たり7万7,200円、販売収入は11万7,000円。一等米のコシヒカリ1俵当たり平成24年、1万3,700円、令和3年、1万600円である。

**Q** 米とそれ以外の流通と販路は。

**A** 主食用米はJAによる直接販売や海外へ出荷等している。トマト等の野菜は、JAに出荷後市場を経由し、消費者に届けられたり、直売所での販売もある。

**Q** 生産品を組み合わせるなどJAと協議し販路を拡大すべき。

**A** 地産地消の教育的意義も含め、来年度から現在週3回の米飯の回数を増やせないか調整している。



片山 瞬次郎(かたやましゅんじろう)議員

一問一答

## わくわくする未来型図書館

### ◆図書館の利用状況について

**Q** 図書館の利用動向と小学校内図書室の貸出数は。

**A** 減少傾向で、スマホや電子書籍の普及拡大等も影響の一つと推測。小学校図書の出借は平成16年の35・5冊から令和元年度は約4倍の147・9冊である。

**Q** コミュニティの拠点としての図書館の重要性とエリア価値向上への所感は。

**A** 出合いの場や憩いの場としての役割は拡大している。図書館により周辺地域が好循環で潤う場所を選びたい。

**Q** 今後の図書館に求める役割は。

**A** 20年、30年後の未来を見据え、人づくり、地域づくりの拠点として進化していく事が大切である。

**Q** GIGAスクールのタブレットで「子ども電子図書館」の考えは。

**A** 紙と電子の両立も重要で、将来的な課題も含め検討していく。

### ◆貸与型奨学金制度について

**Q** 給付型の奨学金ではなく、貸与に至った理由は。

**A** 本市は「学習意欲があり、経済的理由で修学が困難な学生」を対象とした。給付型は日本学生支援機構などで「成績も格段に優秀な学生」を対象としている制度がある。

**Q** 「経済的理由による修学が困難」の要件を広げる考えは。

**A** まずは運用し、多くの学生が利用しやすい制度に見直しながら弾力的に運用していきたい。

### ◆日本遺産サミットin小松から

**Q** 文化観光戦略と日本遺産サミットの成果は。

**A** 全国から92の日本遺産団体が集い、全国各地に魅力を発信した成果は大きい。

**Q** GEMBAプロジェクトを通じて、小松の魅力を活かすには。

**A** 今回の取組をモデルに、産業観光、日本遺産の歴史文化ストーリーを融合させた企画を磨き上げたい。



日本遺産サミット in 小松



円地 仁志(えんちひとし)議員

一問一答

## 安宅海岸浸食対策について

**Q** 安宅海岸(特に左岸側)の浸食が著しい。この安宅海岸の浸食の現状について。

**A** 昔から冬期風浪による浸食が度々発生していた。昭和30年代頃から浸食が激しくなり、直立護岸等整備を行ってきた。近年の海浜幅は、40m前後で安定している。

**Q** 海岸の管理については、いろいろ所管があるわけですが、安宅海岸の所管、管理について。

**A** 梯川の左右岸500m区間は、安宅海岸施設の管理で漁港施設を含め、小松市で行っている。隣接する国の直轄海岸と緊密に情報交換を行い、適切な管理を実施している。

**Q** 過去にも海岸浸食が進み、その対策を行ったと思うが、これまでの浸食対策について。

**A** 左岸側は、昭和43年に直立護岸を整備したが、昭和52年冬期風浪で被災、緩傾斜護岸として復旧。昭和57年〜平成7年にかけて、沖合に離岸堤を3基整備。

右岸側は、平成5年と8年に天然護岸が被災し、緩傾斜護岸として復旧。平成8年〜25年に沖合に、人工

リーフ2基を整備。

**Q** 国の大規模な対策ということ、で災害復旧での対応の可能性について。

**A** これまでも災害復旧事業が適用され今の形が出来上がっている。適用されるには、災害が起こり被害を受け、認定されなくてはならず、その際には認定を受け、速やかに復旧を行っていく。

**Q** 美しい海岸線、白砂青松の風景は、まさにシビックプライドである。早急かつ効果的な海岸浸食対策を求め。

**A** 安宅の海岸はシビックプライドに通じるものであり、来年度は施設調査、老朽化調査のため、調査費を計上する。その調査結果をもつて、国、県に対し改良事業の事業費支援を得られるよう強く要望していく。



浸食が進む安宅海岸



宮西 健吉(みやにしけんきち)議員

一問一答

## 子育て教育・旧西尾小活用施策で本市の対応は

**◆** 子育て教育におけることも園、保育所の現状と課題について

**Q** 民営化計画での今後の計画は。

**A** 第一、矢田野第二、金野・瀬領統合保育所以外の民営化を推進。

**Q** 本市の職員の配置基準と基準の見直しについて。

**A** 国と同基準で、0歳児が子供3人に対し1人。1・2歳児6対1。3歳児20対1。4・5歳児30対1。基準の見直しは、慎重に検討。

**Q** 会計年度任用職員の賃金は。

**A** 会計年度任用職員制度により非常勤保育士等の処遇が改善。職務内容等により、正規職員の規定給料表が適用される。

**Q** 休日保育、延長保育の職員の配置は、これらの見直しは。

**A** 休日保育は正規職員1名と補助職員1名で対応。年3回から4回の勤務で、許容の範囲内と認識している。

**Q** 今後の正規職員の採用計画は。

**A** 会計年度任用職員と併せ、バランスのよい採用計画を立てる。

**◆** 本市公設のふれあい健康広場・西俣キャンプ場について

**Q** 概要は。条例は。指定管理者は。

**A** ふれあい健康広場は、ゴルフ場が9ホール、キャンプ場15か所等で民間事業者が管理。公園施設使用料等は小松市都市公園条例で、自主事業は指定管理者が設定。西俣キャンプ場は、オートキャンプ場30か所地元団体が管理。料金等は、西俣キャンプ場条例で設定。

**Q** 利用数は。運営収支は。

**A** ふれあい健康広場は、令和2年が1万2千277人、指定管理委託料1千560万円。西俣キャンプ場は、令和2年が3千24人、指定管理委託料は300万円。

**Q** 2つの施設の指定管理料の違いは何か。

**A** 特性により、指定管理料に差が出ているが算定は適正。今後必要があれば、対応を検討する。

**Q** 旧西尾小活用での本市の対応は。

**A** スーパープロジェクトによる指定管理を前提に、令和4年1月末を期限に、基本協定書を締結。早期オープンへ調整していく。

# 予算決算常任委員会総括質疑

## ◆会派自民◆



新田寛之委員

### ◆子育て世帯臨時特別給付費

**Q** 所得制限で支給対象となる児童数、世帯数、支給対象とならない児童数と世帯数について。

**A** 支給対象は約1万7千9百名、約1万5百世帯、支給対象外は約9百名、約6百世帯。

**Q** 支給額と支給方法、スケジュール、年収960万円以上世帯への市独自の考えはあるか。

**A** 令和3年内に1人10万円を現金で一括支給。財源の問題もあり、国に準じた形で支給を行う。

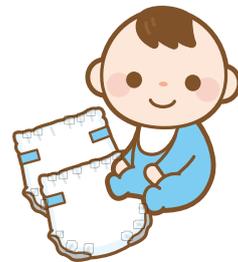
**Q** 市の所得制限の考え方について。

**A** 原則設けない方向が良いが、全政策に同一基準は難しい。

**Q** 赤ちゃん紙おむつ定期便費概要について。希望の種類の紙おむつを選択可能か。

**A** 見守り訪問による子育て情報の提供と紙おむつの配達。種類は

選べる形にしていく。



**Q** 事業スケジュール、対象者は、何回受取れるか。

**A** 令和4年7月開始予定。令和3年7月〜令和4年7月生まれが最初の対象で、1歳の誕生日まで最大10回。

**Q** 委託業者について、配達業務と見守り支援は両立可能か。

**A** 子育て経験者や知識のある配達員を想定している。

**Q** 配達時の見守りやフォローアップは何をするのか。

**A** 声かけ、チェックシートによる情報収集等。内容に応じ、市の関係各課に情報を提供する。

**Q** 支援員のスキルアップや研修も必要。助産師会や看護師協会等様々な人材の活用を。

**A** 保護者が安心して相談可能な体制構築のため研修を実施。業務の趣旨を理解した適正な業者の実施を想定している。

**Q** 継続事業とするか。

**A** 安心して子育てできるまちを目指すし継続実施が重要。



表靖一委員

### ◆小松駅ターミナルプラン推進費

**Q** 事業内容及びライブラリー機能の変更理由について。

**A** 令和5年春のオープンを目指し、観光案内、ワークラウンジ、情報ラウンジの3区画を整備する。八日市地方遺跡等の展示機能を持つ交流エリアとした変更を行うもの。

### ◆小松駅高架下観光交流施設整備費

**Q** 情報ラウンジ及びプロジェクトマネージャーの役割について。

**A** 小松の生活や産業を支えてきたものづくりに焦点を当て、八日市地方遺跡をはじめ歴史、文化、名称を発信する場とした。マネージャーには民間企業での経験をフルに生かし、駅周辺施設と連携を取り、進めてもらいたい。

### ◆旧西尾小学校跡地活用事業検証委員会委員報酬

**Q** 委員報酬が当初見積りより膨らんだ理由は。

**A** 委員の方々の資料の読み込み、会議出席、情報の取りまとめ等を行い、最終的に3名で272時間30分と想定よりも時間を要した。

**Q** 総務企画分科会での執行部の謝罪理由及び今後の方針は。

**A** 予算総額を正確に見通せず、議会への説明や手続きが不十分であったため真摯に反省したい。今後の事業方針はどうすれば施設をいち早くオープン出来るか、継続的、持続的な運営するにはどうすべきか、お互いに協議し令和4年7月1日オープンを目指したい。

## ◆自民党こまつ◆



田地仁志委員

### ◆サテライトオフィス立地推進費

**Q** 事業の概要は。

**A** 小松駅東地区に令和5年度完成予定の複合ビルへの企業誘致に向けて営業活動を展開する。

**Q** 正蓮寺産業団地の分譲から3年ほど経過しているが企業誘致が進んでいない。これまでの取組は。

**A** 市内・県内企業への訪問や、都市部で開催される企業立地フェアにて誘致を進めてきた。

**Q** 今後、正蓮寺、安宅新、小松駅東複合ビルの3本柱で企業誘致を進めるとしているが、それぞれどのような産業を誘致していくのか。

**A** 正蓮寺地区は現在引き合いのある企業を、安宅新地区は物流のほか航空関連など新たな業態の企業を、複合ビルにはIT産業などの誘致を実現したい。



川崎順次委員

◆10万円給付金を地元商店街で

**Q** 子育て世帯臨時特別給付費について市民の要望、市長の決断で10万円一括現金で12月24日に支給決定。地元経済が疲弊した中で何とか地元商店街で使用できるように、市民にお伝えすることができないか。地元経済を立て直すことが一番重要。今後市長の子育て支援・教育支援、子ども達に向けた強い今後の対応策があるか。

**A** 本市では、子育て世帯に速やかに支給するために、クリスマススイブに現金一括10万円での



給付を選択した。この10万円給付に限らずしっかりと事業者支援を行ってほしい。子育て政策や教育の充実は重要な観点であり、交付金等財源を確保できるように鋭意取り組んでいきたい。



吉村範明委員

◆小松市地域女性活躍推進事業(つながり型)について

**Q** 目的と地域女性活躍推進交付金は。

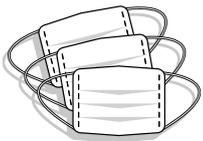
**A** 目的は女性の相談窓口の開設や居場所づくり、交付金はスキルアップ等推進、就労寄り添い型支援。

**Q** 内容と委託先と期間は。市単事業で継続すべきだ。

**A** 内容は、相談窓口設置と相談員等の人材育成、居場所の提供、市関係各課等への連携等。委託先は、NPO法人いのちにやさしいまちづくりぽぽねつと。期間は令和4年度末まで。継続を市として検討していく。

**Q** 健康上の理由でマスクを着用出来ない方もいる。県は配慮を求める案内を出したが本市は。

**A** マスク不着用の方の事情を汲み取れる共生社会を目指していく。広報も今後検討する。



宮西健吉委員

◆旧西尾小学校跡地活用事業検証委員会委員報酬

**Q** 報酬の内訳は。検証委員会を立ち上げた理由は。

**A** 執務に伴う報酬と交通費相当の費用弁償である。当初の計画どおり進まず、経緯も踏まえ事業を初めから検証するため立ち上げた。

**Q** 今後のプロポーザル事業の在り方は。

**A** プロセスをしっかりとし、マニュアル化して規定していく。

**Q** 条例については。

**A** 様々な事例を参考に適切に運用する。

**Q** 議会での特別委員会の立ち上げについては。

**A** コメントする立場にないが、あれば、やるべきことはする。

◆無党派



木下裕介委員

◆子育て世帯臨時特別給付費

**Q** 世帯年収1、900万(夫950万、妻950万)は支給され、

世帯年収1、300万(夫1、000万、妻300万)は対象外。これでは所得制限を入れる意義が薄れている。子どもへの支援であれば、市独自で所得制限を撤廃して、18歳以下全員に現金を支給してはどうか。

**A** 国に準じた児童手当制度の枠組みで行われると考えている。



橋本米子委員

◆医療的ケア児支援費90万円について

**Q** 医療的ケア児支援法成立の意義についてどのようにお考えか。

**A** 医療的ケア児への支援を地方自治体の「責務」としたもの。

**Q** 予算90万円の使用内容についてどのような内容か。

**A** 事前に看護師を雇用し、医療的ケアに対応できるよう育成。

**Q** 学校における医療的ケア児支援体制の構築について聞く。

**A** 医療的ケア運営協議会を設置し看護師、教職員の研修を実施。

# 常任委員会 審査報告

## 予算決算

委員長 出戸 清克  
副委員長 片山 瞬次郎  
全議員所属

議案第60号 令和3年度小松市  
一般会計補正予算(第4号)につ  
いて

### ■総務管理費一般経費 (4,200千円)

7月に設置された旧西尾小学校跡地活用事業検証委員会の委員3名の報酬に係る費用で、検証委員会からは11月に検証結果をまとめた報告書が市に提出されており、市の手続きにおいて、「不適正」な部分があったと報告されています。

補正予算案の上程が後になって提出されていること等説明が不十分であったことから、今後は丁寧な説明を行うよう強く求めました。議会には報告書の概要版で説明されており、また、予算審議の立場から全体版である原本の提示を求める意見がありました。公開されませんが、引き続き、協議することを求めました。地元も施設の早期オープンを要望しており、1月末を期限に現指定管理者と基本協定の締結に向けて協議を進めていくことであることから、お互いにオープンに向けて協力して進めてほしいと求めました。また一部の委員からは、全体版の提示が無かったことや上低予算の議決を前に予算執行がされていることなどから委員会として意味がない、

議会制民主主義として間違っている  
と反対する意見がありました。

### ■共生のまち推進費 (2,700千円)

新型コロナウイルス感染症の影響や育児・健康などの事情により生活に不安を抱える女性等を対象に国の交付金を活用して、気軽に相談できる窓口の開設や孤立しないよう居場所を提供する地域女性活躍推進事業に係る費用です。

相談したい人に声が届くように幅広い周知を求めました。

### ■赤ちゃん紙おむつ定期便費 (債務負担行為15,000千円)

生後3ヶ月から1歳までの赤ちゃんを養育する家庭の見守り訪問の実施と子育てに関する情報提供を行い、併せて紙おむつを自宅まで配達することと、訪問開始は令和4年7月を予定しているとのことです。

### ■小松駅高架下観光交流施設整備費 (2,500千円)

北陸新幹線小松駅開業による新たな交流の創造に向け、小松駅高架下情報ラウンジ内部の展示設計を行うものです。地域の魅力発信や広域連携の拠点づくりなど、観光交流センター機能の追加に伴い、補正計上するものです。

### ■八日市地方遺跡発掘調査費 (134,000千円)

小松駅東地区複合ビル建設に伴う八日市地方遺跡埋蔵文化財発掘調査経費です。

発掘調査で出土した貴重な資料を観光交流施設で展示し、素晴らしい歴史文化をPRしてほしいとの意見がありました。

### ■サテライトオフィス立地推進費 (1,500千円)

令和6年春完成予定の小松駅東地区の複合ビルへのオフィス誘致を推進するため、オフィス情報フライヤーの作成など営業活動を展開する費用です。

引き続き攻めの姿勢で企業誘致を推進するよう求めました。

### ■森林情報管理システム整備費 (4,000千円)

スマート林業の実現に向け、これまで紙ベースで管理されていた森林資源情報や地図情報をデジタル化して、森林GISにより一元的に管理するシステム整備費用です。

### 議案第74号 小松市行政財産使用料徴収条例の一部を改正する 条例について

行政財産の目的外使用における使用料算定は、現在土地又は建物の評価額の一定率としていますが、使用者の負担感を軽減するため売上料率等をもとに使用料を設定できるようにする等、また、月額納付できるようにする等改正を行うものです。

### 議案第82号 令和3年度小松市一般会計補正予算(第5号)について

### ■臨時福祉灯油助成費 (31,000千円)

原油価格の高騰を踏まえ、住民税非課税世帯等への家計への負担軽減を図るため、冬期間における灯油等の暖房費の一部を助成することとします。助成対象と見込まれる世帯には1月中旬に申請書類を送付し指定の口座に振込を行うとのこととします。

### ■生活支援臨時福祉給付金費 (1,067,400千円)

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な困難に直面した方々が、生活支援が受けられるよう国の経済対策として実施するもので、住民税非課税世帯等に対し1世帯あたり10万円の給付を2月中旬に予定しているとのこととします。

国の制度設計が決まり次第、委員会において再度の報告を求めました。

### ■子育て世帯臨時特別給付金 (1,756,400千円)

新型コロナウイルス感染症の影響が及ぶ中、子育て世帯について、国の基準に準じた所得以下の世帯の0歳から高校3年生までの子供たちに給付金を支給するものです。本市においては、子育て世帯へ速やかに支給するため、対象児童1人当たり10万円を一括給付することに変更決定したものです。一括現金給付になることは、望ましい形ですが、地元経済の活性化に繋げる対策も重要であることから、地元経済の回復に向けた対策の実施を求めました。



## 経済建設

委員 長	宮川 吉男
副委員 長	岡山 晃宏
委員	吉田 寛治
委員	吉村 範明
委員	吉本 慎太郎
委員	出戸 清克
委員	川崎 順次

まえ進めるよう強く求める意見がありました。

### ■ジビエアトリエ加賀の國の販売状況について

本施設の令和3年6月の搬入開始と、搬入頭数等の報告がありました。イノシシ被害に対して、農家の負担軽減に取り組んでほしいとの意見がありました。

### ■議案第68号 小松市地域優良賃貸住宅条例について

木曾町地域優良賃貸住宅の設置・管理について必要事項を定めるものです。近隣や他市の状況を確認し家賃設定したとありますが、新婚や子育て世帯の支援目的から、家賃が高く感じるとの意見や、条例制定後も動向を注視し、設定家賃の柔軟な対応を求める意見がありました。

### ■議案第78号 指定管理者の指定について

石川県こまつ芸術劇場「うらら」の現管理者を引き続き指定管理者に指定するものです。魅力ある劇場運営が指定管理者の条件であるということですが、魅力的で発信力のある劇場運営の推進を市から指定管理者へ求めてほしいとの意見がありました。

### ■旧西尾小学校跡地活用事業について

早期オープンに向け、議会や市民が納得できる形で協議を進めるよう、随時説明を求める意見がありました。地域住民が望む学生利用や利用しやすい施設について、地域要望を踏

### ■ごみ減量化及びリサイクル率向上に向けた現状と課題について

みなで可燃ごみ減量と分別に取り組めば達成できる目標に変更してはどうかとの意見がありました。

### ■いしかわ百万石文化祭2023小松市独自事業について

キックオフイベントとして、「野村萬斎狂言公演」が行われます。今回のイベント終了後も野村萬斎氏と小松市との交流を繋げるきっかけづくりを求める意見がありました。

### ■議案第84号 訴えの提起について

市と共有状態の正蓮寺産業団地用地4筆について、法定相続人に対し、金銭による代償分割で共有部分の法定相続人持ち分の取得を求めるものです。

なお、譲渡できない状態で分譲していたなど、議会にも詳細な説明がなく事業の進め方について大きな問題があったのではないかという意見がありました。

## 特別委員会 調査報告

### 小松基地・空港対策特別委員会

委員 長	灰田 昌典
副委員 長	梅田 利和
委員	新田 寛之
委員	高野 哲郎
委員	片山 瞬次郎
委員	二木 攻
委員	川崎 順次

### ■在日米軍再編に係る訓練移転について

現時点では、小松基地における訓練計画はないとのことです。国内の訓練移転の状況ですが、百里基地(茨城県)で12月13日から17日までの間、日米共同訓練が実施されました。

訓練実施の際には、市民の安全・安心を図るため、これまで以上に安全対策、騒音対策を徹底し、飛行の安全や協定の順守を求めるものです。

なお、訓練の実施については小松市民にとって関心の高い事であることから、今後とも、速やかな情報提供に努めるよう求めました。

### ■小松空港利用状況について

国内線は、新型コロナウイルスの影響を受け、一部運休が続いていましたが、今月に入り、国内の感染状況が落ち着き、年末年始の時期に向けて需要が徐々に回復し

ているため、12月24日から来年1月迄はコロナ禍以前の運行本数に戻り、これに併せて、12月より北陸エアターミナルの運用時間も通常どおりに戻ったとのことです。新型コロナウイルスの新たな変異株(オミクロン株)の感染が広がっている国もあることから、引き続き、今後の国内線・国際線の動向を注視していくとのことです。

### ■航空プラザについて

航空プラザの令和3年度11月末迄の入館者は、5万1千8百人余であり、新型コロナウイルスの影響により、入場制限や時間短縮を行ったこともあり、例年と比べて減少しているとのことです。

防衛省から無償貸与されている前政府専用機(B-74)貴賓室については、来年4月末を以って2年間の貸付期間が満了となりますが、市から再度公募に応募したところ、引き続き航空プラザに設置されることとします。今後も航空ファンを魅了する展示を求めました。

コロナ禍の中、特に児童・子どもが利用する公共施設については開館時間やイベント等、分かりやすく周知できるよう、工夫を凝らした広報に努めるよう求める意見がありました。

# ◆12月定例会の議決結果◆

## ■全会一致で議決された議案

	議案名	議決結果
予算案 (8件)	第60号 令和3年度小松市一般会計補正予算(第4号)	可決
	第61号 令和3年度小松市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	//
	第62号 令和3年度小松市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	//
	第63号 令和3年度小松市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	//
	第64号 令和3年度小松市水道事業会計補正予算(第1号)	//
	第65号 令和3年度小松市下水道事業会計補正予算(第2号)	//
	第66号 令和3年度国民健康保険小松市民病院事業会計補正予算(第2号)	//
	第82号 令和3年度小松市一般会計補正予算(第5号)	//
条例案 (10件)	第67号 小松市奨学金貸与条例について	//
	第68号 小松市地域優良賃貸住宅条例について	//
	第69号 小松市認定こども園条例について	//
	第70号 小松市立児童館条例の一部を改正する条例について	//
	第71号 小松市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	//
	第72号 小松市消防団条例の一部を改正する条例について	//
	第73号 小松市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	//
	第74号 小松市行政財産使用料徴収条例の一部を改正する条例について	//
	第75号 小松市手数料条例の一部を改正する条例について	//
	第76号 小松市テレビ共同受信施設の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	//
その他議案 (7件)	第77号 公立大学法人公立小松大学中期目標の変更について	//
	第78号 指定管理者の指定について	//
	第79号 指定管理者の指定について	//
	第80号 指定管理者の指定について	//
	第81号 専決処分の承認を求めることについて	承認
	第83号 工事請負契約について	可決
	第84号 訴えの提起について	//
議員提出議案 (2件)	第10号 子供たちの学びの更なる充実を求める意見書	//
	第11号 中国政府による人権侵害問題の解決に向け、日本政府に必要な措置を講ずることを求める意見書	//
その他案件 (1件)	諮問 第1号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同意

## ■賛否が分かれた議案

○は賛成 ×は反対 退は退席 欠は欠席

議案名	会派自民										自民党こまつ				無会派				議決結果			
	灰田昌典	杉林憲治	表靖二	宮川吉男	出戸清克	高野哲郎	梅田利和	新田寛之	東浩一	岡山晃宏	竹田良平	宮西健吉	川崎順次	円地仁志	二木攻	吉村範明	橋本米子	片山瞬次郎		木下裕介	南藤陽一	吉田寛治
議員提出議案 (2件)	第12号 旧姓の通称使用の更なる拡充を図り、改姓による不便や不利益の早急な解消を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	可決
	第13号 更なる国土強靱化に向けて予算の拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○

※吉本慎太郎議長、南藤陽一副議長は小松市議会運営規約第4条に基づき、会派に所属していません。吉本慎太郎議長は採決に加わりません。

## 議員の香典を自粛します

小松市議会議員の申し合わせ事項として、香典を原則行わないこととし、近親者等関係が密な人に対しては、議員個人で判断することにしております。

# 予定 3月定例会の日程

※日程は変更になる場合があります。  
【問い合わせ】 議会事務局 ☎0761-24-8138

日	月	火	水	木	金	土
2/20	21	22	23	24	25 本会議(開会)	26
27	28	3/1 議会運営委員会	2	3	4 代表質問	5
6	7 一般質問	8 一般質問	9 常任委員会 (分科会)	10 常任委員会 (分科会)	11	12
13	14 特別委員会	15	16 予算決算常任委員会 総括質疑 常任委員会(分科会)	17	18	19
20	21	22 予算決算 常任委員会	23	24 議会運営委員会 本会議(閉会)	25	26

2月25日には市長による提案説明、3月4・7・8日には市政に対する一般質問、3月16日には予算案等への質疑、3月24日には委員長報告等が行われます。  
小松市政について、活発な議論が行われますのでぜひご覧ください。



小松市  
イメージキャラクター  
カブッキー

☆議会傍聴 ☆テレビ小松 ☆ホームページ(議会生中継・録画配信)  
<https://www.city.komatsu.lg.jp/citycouncil/index.html>

## 編集後記

### 議会だより編集委員会

委員長 東 浩一  
副委員長 岡山 晃宏  
委員 竹田 良平  
吉田 寛治  
新田 寛之  
吉村 範明



小松に新しい市長が誕生し、大きな優しい風が吹き始めています。企業誘致に向けての活動や、中学三年生の給食費無償化等、市民の声を聞きながらの未来型図書館の設立へ向けての動きなど、市民の幸せを第一に考える新しい市政は大変頼もしくワクワクします。昨年は東京オリンピック・パラリンピックが行われ、田中恵子選手がボッチャで銀メダルを獲得され、母 孝子さんとともに市民栄誉賞を受けられました。また、野球の大谷翔平選手や将棋の藤井聡太さんなど誠実に謙虚に頑張る姿にも胸を打たれました。彼らに共通しているのは、利他の精神ではないかと感じています。私も利他の精神を忘れずに、小松の未来を市長や市民のみなさんとともに見つめて行きたいと思います。(吉田 寛治)

働くみなさまを応援します!



〈ろうきん〉は自治体と提携し、  
低利な融資をご用意しております!

無担保

勤労者小口資金融資制度  
勤労者育児・介護休業資金融資制度

詳しくは、北陸ろうきん 小松支店 TEL 0761-22-3342まで

## 議会豆知識

ざかいまめちしき

小松市議会ホームページでは、本会議の録画映像や会議録を公開しています。  
ご利用ください。



不動産鑑定士 澤矢豊伸 TEL0761-21-1122  
中小企業診断士 社会保険労務士 竹内広幸 TEL0761-22-9990  
税理士 行政書士 谷口勇一 TEL0761-76-5503  
弁護士 杉本昌之 TEL0761-24-3633  
弁護士 中西祐一 TEL076-256-5413  
司法書士 三輪哲也 TEL0761-43-0848  
土地家屋調査士 行政書士 山崎 豊 TEL0761-20-3175



◆法律◆多重債務◆税金◆登記  
◆年金◆会社設立◆相続 等  
のご相談をお気軽に【秘密厳守】  
私たちが相談に応じます。

## サポートネット 専門家による無料相談会

日時●2月19日(土) 3月19日(土) ●4月16日(土) 9時~11時30分 会場●小松商工会議所